

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「子育て村」REBORN (リボーン=再生) 事業
事業主体 (連絡先)	岩村田連合商店会 佐久市岩村田765
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,051,334円 (うち支援金: 1,641,000円)

事業内容

■ちびっ子職業体験

商店街の事業所に先生となつていただき、地元小学生が商品づくりや商品の仕入、販売を体験・ミニショップ開店

■子育てお助け村でのダベリング会「いいたい放題でお茶しよう！」開催

商店街の子育てサロンで未就学児のママを主な対象にダベリング会を開催(7月・11月・2月)

■コミュニティの再構築(子育て村加盟店と子育て会員の拡大)

新規協賛店22店舗を迎え、子育て村会員の募集を行った。



【ミニショップ】

【目標・ねらい】

- ① 子育て村コミュニティの拡大
- ② 子育てサロン「子育てお助け村」の周知、利用拡大

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

■子育て村協賛店が62店舗となり、従来の1.5倍になった。子育て世帯へのサービスの幅が広がった。

募集のチラシの折り込みが3月下旬になってしまったため子育て世帯の新規入会は70世帯にとどまっているが次年度につながる効果が期待される。

また、大規模な告知により休眠会員の呼び起こし効果があった。

■子育てお助け村利用者が倍増した

※自己評価【B】

【理由】

協賛店の新規参加呼びかけに対し、反応が悪く、目標達成に時間がかかった。このため、諸事業の遂行が全体として遅延した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

協賛店のさらなる拡大に取り組みたい。目標を100店舗と定め、コツコツと加入を続けていきたい。このことで子育て村会員へのメリットを増大させ、イベント実施と並行してコミュニティの継続につなげてゆきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある